

科目ナンバリング		U-LAS21 20006 SO48							
授業科目名 <英訳>	ドイツ語II B D2161 Intermediate German B				担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 福田 覚			
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	水5		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
初級文法の知識をベースにドイツ語の読解力の養成を図る。また、外国語の学習習慣の見直しも意識的に試みる。									
【到達目標】									
一定水準のドイツ語のテキストを主体的に読みこなせるようになる。									
【授業計画と内容】									
よく知られた古典的な映画『十二人の怒れる男』(1957)を鑑賞しながら、同時にドイツ語のテキストで読む。映画は、ある少年の裁判で、陪審員の12人が評決にいたるまでを描いた内容。それを素材として、ドイツ語を読む力を養う。丁寧な予習が不可欠で、自らの外国語学習のリズムを見つめ直す機会にもしてもらいたい。									
1. ガイダンス 2~4. テキスト(1)~(3) 5. (1)~(3)のおさらい 6~8. テキスト(4)~(6) 9. (4)~(6)のおさらい 10~12. テキスト(7)~(9) 13. (7)~(9)のおさらい 14. 試験にむけた準備									
試験後の「フィードバック」については、別途連絡する。(基本的には、フィードバック時間に、教室で学生から自習に基づいた質問を受ける予定です。)									
【履修要件】									
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。									
【成績評価の方法・観点】									
成績評価は、原則として、学期末の試験による。ただし、学習習慣の確立も重要なので、1割程度、受講の姿勢も加味する。(平常点は受講姿勢が10割で、考え方は以下の通り。)									
予習がなされていること、出席票の記入ができていることを重視します。									
予習は、「分からない状態」を縮減するためにできる努力をしてください。そうして予習したものに結果的にまだ間違いがあることは問題ではありません。									
欠席を減点の対象とすることはしないものの、出席することでリズムが生まれ、気づきや定着につながり、最も無理なく学習できて、結果的には評価にもつながるはずなので、出席を心がけてください。									
共同学習の雰囲気とルールを大事にするという観点から、私語、スマホ操作、居眠り、予習不足(予習に間違いがあるという意味ではありません)、出席票の記入漏れや未提出といったものは評価に反映されません。									
ドイツ語II B D2161(2)へ続く									

ドイツ語II B D2161(2)

価に含める可能性があります。

**[教科書]**

“ Die zwölf Geschworenen ” ( プリントを配布します )

**[授業外学修 ( 予習・復習 ) 等]**

発音を確かめる、語義を確かめる、文法を理解するといった角度から文章を丁寧に読む予習が不可欠です ( 標準 : 1 , 2 時間程度 ) 。分からないところがあるときの対処の仕方が分かってくることが、学習の質的向上につながります。

逆に、辞書で語義を見たらあとはそこから文意を想像するだけになってしまうと、外国語学習が崩れてくるので、これまで使ってきた初級文法の教科書も随時参照してください。

テキストの理解が進んできたなら、気軽に試験までに何周かするつもりで復習して定着を図ります ( 忘却曲線を念頭に置いた忘却の回避、細部に気を配った理解と定着 ) 。

**[その他 ( オフィスアワー等 ) ]**

初級 ( 文法 ) の単位取得が前提となります。一通り文法を学んでいるという前提のもとで、不確かなところを再確認するようなかたちで進んでいければと考えています。

**[主要授業科目 ( 学部・学科名 ) ]**